

札幌国際芸術祭 2020 開催に伴う事業効果検証業務
公募型企画競争 提案説明書

1 業務名

札幌国際芸術祭 2020 開催に伴う事業効果検証業務

2 業務の必要性及び目的

札幌国際芸術祭（以下、「SIAF」という。）は、公金を主な財源とする文化事業であり、その開催意義や目的達成状況を常に把握し、対外的に説明することが求められる。また、3年に1回開催するトリエンナーレ方式の芸術祭であるため、次回開催に向けては、SIAF2020の開催効果を検証し、見直しを行うことが必要である。

さらに、SIAF2020開催に当たっては、目的や求められる成果を見据え、戦略的に事業計画を立てる必要があり、独自のロジックモデル構築が不可欠となっている。

そこで、本業務は、SIAF2020開催に先立ち事業効果を検証するための手法を構築し、会期中・終了後に必要な調査を実施したうえで分析・検証を行い、今後の取組の方向性を検討することを目的とする。

3 業務履行期間

契約締結日から令和3年3月31日まで

4 業務内容

(1) SIAF2020 効果検証手法の策定

ア 委託者が提示するロジックモデルをベースに SIAF2020 の効果検証の枠組（ロジックモデルの作成と評価指標（経済波及効果※を含む。）の設定）を作成する。枠組作成に当たっては、事務局スタッフ、関係者等へのヒアリング等を適宜行い、事業計画（本業務と並行して策定する場合もある。）との齟齬がないようにすること。

※経済波及効果は、下記についてそれぞれ算出すること

①SIAF2020

②SIAF2020 プレイベント等、札幌国際芸術祭実行委員会が 2020 年度に実施する SIAF2020 以外の事業（実施事業一覧、参加者数については委託者が提供する。）

イ 委託者と協議の上、アの枠組に基づき取得すべきデータ等を整理し、各種データの測定方法を検討・決定する。

①アンケートにて取得する項目においては、性別、年代、居住地といった属性を含むものとする。

②その他関係者や有識者等へのインタビューやレポートの依頼についても、委託者に提案するものとする。

③SIAF2020 の効果検証にあたり、必要となる下記の基本データについては委託者がデータを取得・集計した上で、受託者に提供するものとする。

（ア）会場毎の来場者数

- (イ) チケットの販売枚数
 - (ウ) ボランティア活動参加者数
 - (エ) その他、協議の上、委託者側でデータ取得することが相当と委託者が認めたもの
- (2) SIAF2020 における定量・定性調査
- (1) イにより決定した調査の実施。但し、各会場における来場者へのアンケートへの協力の声掛けについては、別途委託する各会場の監視員やボランティアスタッフにより行なうことができるものとする。
- (3) 調査結果の分析・検証
- (4) 報告書の原稿作成（印刷・製本は委託者が行う。）

5 企画提案を求める項目

- (1) 事業実施体制及び実績
- ア 事業実施体制（体制図、総括責任者、業務従事予定者一覧）
 - イ 実績（過去の類似業務の実績、業務従事者の知見・専門性等）
- (2) 積算
- (3) 業務実施概要案
- ア 効果検証手法の策定（策定方針、評価指標例、作業手順等）
 - イ SIAF2020 における定量・定性調査（調査対象候補や調査項目、調査手法※）
※来場者アンケートの実施にあたり、スマートフォンやタブレット、QRコードを用いる等、紙以外の媒体を用いた方法がある場合には、技術面、コスト面、運用面、アンケート回答者が感じる煩わしさの回避、回答者の満足度向上策（ノベルティの配布）等、総合的に判断し、優れていると思われる方法を提案すること。
 - ウ 報告書骨子
 - エ 全体スケジュール※
※基本の仕様書（案）の5成果物等及び提出期限（予定）を参考にすること。

6 企画提案にあたっての留意点

委託者が提供するロジックモデルツリー及び指標設定シート素案（参加意向申出書提出者にのみ提供）及び令和2年2月7日に公表した開催概要書を踏まえた提案とすること。

7 予算規模

4, 500, 000円程度（消費税及び地方消費税を含む。）

8 参加資格

- (1) 法人又は団体であること。
- (2) 本業務の目的を円滑かつ効率的に遂行し、委託者と円滑に協議ができる体制の事務所を札幌近郊に有していること。
- (3) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない

こと。

- (4) 企画提案書の提出期限において、札幌市競争入札参加停止等措置要領（平成 14 年 4 月 26 日付け財政局理事決裁）に基づく参加停止措置を受けている期間中ではないこと。
- (5) 所得税又は法人税、消費税及び地方消費税、札幌市税又は主たる事務所がある市町村の市町村税の滞納がないこと。
- (6) 会社更生法、民事再生法等に基づく再生又は更生手続きを行っている者ではないこと。
- (7) 代表者が契約を締結する能力を有しない者又は破産者で復権を得ない者ではないこと。
- (8) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 3 条又は第 4 条の規定に基づき都道府県公安委員会が指定した暴力団等の構成員を、役員、代理人、支配人その他の使用人又は入札代理人として使用している者ではないこと。
- (9) 事業協同組合等の組合と当該組合員とが同時に参加していないこと。
- (10) 参加意向申出書の提出日から起算し過去 5 年以内に本業務と類似の業務実績があること。
- (11) 提供されたロジックモデル等の資料については、企画提案書の作成においてのみ使用し、一切公表しないこと。

9 参加手続きに関する事項

- (1) 担当部署・書類等提出先

札幌国際芸術祭実行委員会事務局

担当：小林、小田原

住所：〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目札幌時計台ビル 10 階

札幌市市民文化局国際芸術祭担当部内

電話：011-211-2314 E-mail：soumu@siaf.jp

- (2) 事務等取扱日時

平日の 8 時 45 分から 17 時 15 分まで。

- (3) 全体日程

質問書及び参加意向申出書の提出期限	令和 2 年 2 月 19 日(水)	12 時	必着
-------------------	--------------------	------	----

質問書に対する最終回答	令和 2 年 2 月 21 日(金)		
-------------	--------------------	--	--

企画提案書等の提出期限	令和 2 年 3 月 6 日(金)	12 時	必着
-------------	-------------------	------	----

審査（ヒアリング）	令和 2 年 3 月 16 日(月)		(予定)
-----------	--------------------	--	------

事業者の選定等通知	令和 2 年 3 月 18 日(水)		(予定)
-----------	--------------------	--	------

- (4) 質問及び回答

ア 質問がある場合は、(3) の質問書の提出期限までに「質問書（様式 1）」を

(1) に示す書類等提出先に電子メールにて提出すること。件名は「(質問) 札幌国際芸術祭 2020 効果検証業務」とすること。

イ 電話又は口頭による質問は原則として受け付けない。

ウ 質問に対する回答は、随時、質問者名を伏せて札幌国際芸術祭公式ウェブサイト (<http://siaf.jp/>) にて公開することとし、個別の回答は行わない。回答書は、提案説明書の追加又は修正として取り扱う。

(5) 参加意向申出書の提出

ア 本企画競争に参加を希望する者は、(3) の参加意向申出書の提出期限までに、以下の書類を(1) に示す書類等提出先に持参又は郵送（簡易書留等配達状況を確認できるものに限る。）により提出すること。

- ・参加意向申出書（様式2） 1部

(6) 企画提案書等の提出

ア 本企画競争に参加を希望する者は、(3) の企画提案書等の提出期限までに、以下の書類を(1) に示す書類等提出先に持参又は郵送（簡易書留等配達状況を確認できるものに限る。）により提出すること。

- ・企画提案書提出届（様式3） 1部
- ・企画提案書 10部
- ・企画提案書のPDFデータを保存したDVD-R 1枚

イ 提出書類は、「5 企画提案を求める項目」及び「6 企画提案にあたっての留意点」に基づき作成すること。

ウ 企画提案書の書式

- ・A4（カラー可）で作成し、片面印刷のうえ左肩ホチキス留めをすること。
- ・フォントサイズは10.5ポイント以上とすること（写真等の説明文、イメージ図の説明文、注記文等は除く。）。

エ 提出された企画提案書等は返却しない。

10 契約候補者の選定方法

(1) 参加資格の審査

参加意向申出書及び企画提案書等に基づき、札幌国際芸術祭実行委員会事務局が確認を行い、参加資格を満たすことを確認した者のみ(2)の審査を行う。

(2) 審査（ヒアリング）

ア 参加資格のある者について、「札幌国際芸術祭2020事業効果検証業務審査委員会（以下、「審査委員会」という。）が審査を行う。

イ 審査の開催場所、時間は参加資格のある者に対してメールで通知する。

ウ 出席者は、総括責任者を含む3名以内とする。

エ 所要時間は、1企画提案者当たり約20分（プレゼンテーション10分以内、質疑応答10分程度）とし、順次個別に行う。

オ プレゼンテーションは提出した企画提案書に基づいて行うこととし、追加資料やPC等の使用は認めない。

(3) 契約候補者の選定

ア (2)の審査において最も点数の高い者を契約候補者、二番目に点数の高い者を次点の候補者として選定する。

イ 審査基準は別紙「審査基準」のとおりとする。

ウ 出席委員全員の満点の合計の6割を最低基準点とし、審査の結果、提案者全員が最低基準点以上の点数を得られなかった場合は、契約候補者の選定は行わない。

エ 提案者が1者のみの場合は、最低基準点を超える場合は当該提案者を契約候補者とする。

11 審査結果の通知について

(1) 参加資格審査の結果については、参加資格を満たさなかった者に対してのみ、令和2年3月10日（火）までに書面により通知する。

(2) ヒアリング審査の結果については、全参加者に対し、令和2年3月18日（水）までに書面により通知する。

12 企画提案書等の取扱い

(1) 提出後の企画提案書の訂正、追加及び再提出は認めない。

(2) 採択された企画案について、提案者は、著作権法（昭和45年法律第48号）第21条から第28条までに規定する権利（以下「著作権」という。）を委託者に無償で譲渡するものとする。なお、不採択となった企画案の著作権はそれぞれの提案者に帰属する。

(3) 提出された企画提案書等の書類は、委託者が本件の選定の公表等に必要な場合、提案者の了承なく無償で利用できるものとする。

(4) 提案者は、委託者に対し、提案者が企画提案を創作したこと及び提案に際し第三者の著作権、著作者人格権及びその他特許権、商標権を含むいかなる知的財産権を侵害するものではないことを保証するものとする。

(5) 企画提案の活用に当たり、第三者から権利侵害の訴えその他の紛争が生じたときは、提案者が自己の費用及び責任においてこれを解決するものとし、かつ委託者に何らかの損害を与えたときは、その損害を賠償するものとする。

(6) 提出された企画提案書等の書類は、札幌市情報公開条例（平成11年条例第41号）に基づき公開請求があったときは、同条例の定めるところにより公開される場合がある。

(7) 必要な範囲において、複製することがある。

13 契約

(1) 契約は、選考された者（契約候補者）と委託者の間で契約内容の詳細を交渉のうえ、予算額の範囲内で締結する。なお、企画提案の内容をもって契約するものとは限らない。

(2) 契約候補者との協議が不調に終わった場合は、次点の者と交渉する。

(3) 契約候補者が契約に至るまでの間に、会社更生法・民事再生法・破産法のいずれかの適用があった場合、経営状態が著しく不健全であると認められる場合、又は札幌市が入札の参加停止を行うような事態が発生した場合等は、契約を締結し

ないことがある。

14 その他

- (1) 手続きにおいて使用する言語は日本語、通貨は日本円とする。
- (2) 以下の条件の一つに該当する場合には、失格となることがある。
 - ア 企画提案書に虚偽の記載がある場合。
 - イ 選定結果に影響を与えるような不誠実な行為を行った場合。
 - ウ 選定中に会社更生法による更生手続開始又は民事再生法による再生手続開始の申立てがなされた等、経営状態が著しく不健全であると認められる場合。
 - エ その他、審査委員会において不適切と認められた場合。
- (3) その他
 - ア 提出書類の作成及び提出、審査（ヒアリング）参加に係る経費については、提案者の負担とする。
 - イ 同一の提案者からの複数の提案書の提出は認めない。
 - ウ 委託者から受領した資料は、委託者の了解なく公表又は使用することはできない。
 - エ 受託者が当業務実績を自社広報物等にて公表するときは事前に委託者へ連絡すること。

15 問い合わせ先

札幌国際芸術祭実行委員会事務局（担当：小林、小田原）

住所：〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目札幌時計台ビル10階

電話：011-211-2314（平日8時45分～17時15分）

e-mail：soumu@siaf.jp